

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻				
科目名称[英語名称]	地域景観学特論Ⅱ				授業形態	講義			
科目コード	642460	単位数	2	配当学年	2	実務経験教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
教員氏名	平岡 直樹								
授業概要	本授業の目的は、地域景観学特論Ⅰで学んだ普遍的な基礎的内容を元に、地域社会での応用と展開を行う。 地域性や歴史性などの多角的な視点から、景観の評価、調査、計画手法を論じる。 また、実際の事例を取り上げ、調査方法や分析方法選定からまとめまでを体験する。								
関連する科目	地域景観学特論Ⅰを受講した上で、しっかりと復習しておくことが望ましい。								
授業の進め方と方法	学部の授業「景観論」を受講ししっかりと復習しておくことが望ましい。地域景観学特論Ⅰを事前に履修することが望ましい。 ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。								
授業計画	1 景観の基本概念を使った調査や分析の演習 景観の概念								
	2 景観の基本概念を使った調査や分析の演習 景観の把握								
	3 景観の基本概念を使った調査や分析の演習 景観の分析・予測・評価								
	4 景観の構成要素別に調査や分析や演習 自然景観								
	5 景観の構成要素別に調査や分析や演習 田園景観								
	6 景観の構成要素別に調査や分析や演習 地域景観見学会1								
	7 景観の構成要素別に調査や分析や演習 森林景観								
	8 景観の構成要素別に調査や分析や演習 都市景観								
	9 景観の構成要素別に調査や分析や演習 道路景観								
	10 景観の構成要素別に調査や分析や演習 河川・海岸景観								
	11 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習 構造物と景観								
	12 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習 地域景観見学会2								
	13 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習 サウンドスケープ								
	14 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習 食と景観								

	15 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習 景観の意味	
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 専門分野に関する知識・技能と教養	1
	2. 人間力、社会力、国際性の涵養	2
授業の到達目標	1) 授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付ける。 2) 空間を把握し、計画する上で不可欠な技術力を高める。	
授業時間外の学修	第1回目の授業で示す参考図書など都市論や地域論、景観論に関する資料を授業前に読んでおく。授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、自らの都市や地域、景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や村落、自然地に赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めておく。予習復習4時間程度必要である。	
課題に対するフィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。	
評価方法・基準	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーション	
テキスト	関連書籍及び関連論文	
参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 主なものは以下の書籍です。 ①『場所のカ』ドロレス・ハイデン 学芸出版社(2002) ②『日本の風景・西洋の景観』オギュスタン・ベルク 講談社(1990) ③『風景と人間』アラン・コルバン 藤原書店(2002) ④『まちづくりオーラルヒストリー』水曜社(2005)	
備考		